



駅

✓ 鉄道を高架化

平成25年春には鉄道を高架化し、駅構内に幅員25mの東西連絡通路を整備します。さらにその後、東西の交差道路を新たに3か所整備し、全5か所で行き来できるようにします。こうして、鉄道で分断されていた浦和駅東西市街地の一体化が実現。安全で快適な環境に生まれ変わります。

✓ 湘南新宿ラインが浦和駅に停車

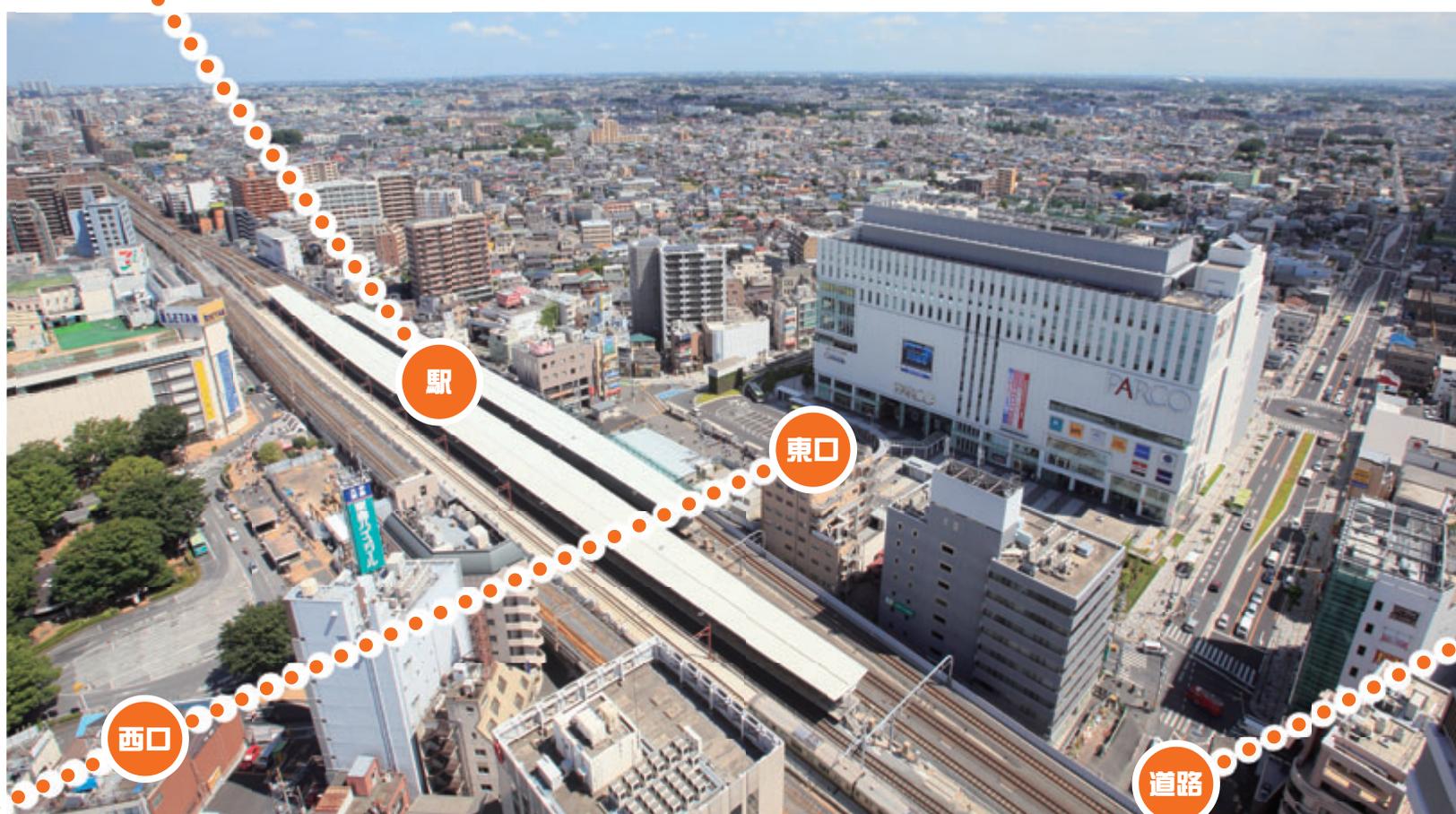
京浜東北線、宇都宮・高崎線に加えて新たなホームを建設し、湘南新宿ラインが浦和駅に停車します。これにより、浦和駅と池袋、新宿方面、さらに横浜方面との行き来が便利になります。

✓ バリアフリー化

東西連絡通路、各旅客ホームにエスカレーターとエレベータを設置し、バリアフリー化を図ります。これにより、ベビーカーや車いすでも、楽々移動することができます。



▲浦和駅の完成イメージ。左側が西口、右側が東口です。鉄道の下を東西に連絡する通路が完成することで、駅周辺に新しい人の流れと活気生まれます。



駅周辺

✓ 東口駅前広場を整備

東口駅前広場の、残されていた約2000㎡を整備します。現在の1.5倍にあたる約6000㎡の広々としたスペースになります。

✓ 浦和駅西口南高砂地区を再開発

西口の駅前広場では、新たに4300㎡のスペースを拡張。平成30年に完成する予定です。また、地上27階地下2階の再開発ビルも建設されます。再開発ビルは、4階までの低層部に商業と業務の施設、5階以上を総戸数約530戸の共同住宅を計画しています。



▲再開発ビルの完成予想図。浦和駅西口広場に隣接する、新たな都市空間が生まれます。

まちの姿について考えました。浦和駅に停車すること。そして第3は、駅周辺を整備し再開発することです。これらの事業は、長年にわたり多くの地元関係者の方々の理解と協力が一つの目標に向かって初めて実現できる、大事業です。新しい交通の流れで、まちの力がアップする浦和駅周辺にご期待ください。次ページでは、都市交通の専門家と実際に駅周辺を歩き、変わりゆくまちの姿について考えました。

浦和が変わる!!

周辺

浦和駅の 高架化で

東西交通



自由自在!!

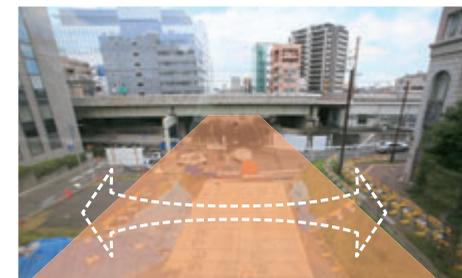
浦和駅周辺では現在、鉄道を高架化する工事が行われています。鉄道により分断されていた東西の市街地を一体化し、駅周辺に新しいにぎわいを生み出すまちづくり。今号では、その全貌をいち早くご紹介します。



道路

✓ 田島大牧線を拡幅

鉄道と交差している田島大牧線(日の出通り)を幅員25mに拡幅し、4車線の道路として整備します。高架から西側にある中山道までの道路は現在一方通行ですが、平成25年春には2車線での通行ができるようになります。道路の拡幅により、車の渋滞緩和だけでなく、歩行者にも安全で快適な道路環境を目指します。



▲道路の幅を広げるとともに、両側に4メートルの歩道を設置。車と人の流れがスムーズになります。

✓ 電線類を地中化

電線類を道路の下に納めます。電柱や電線類がなくなることで、道路の見通しが良くなり、交通の安全性が向上し、美しい景観のまち並みが形成されます。

✓ 県庁通りの環境を整備

浦和駅西口から国道17号に至る県庁通りを整備します。歩道をバリアフリー化し、自転車レーンを設置します。



▲県庁通りの整備後イメージ図。新たに自転車レーンが設置されることで、歩道がゆとりと広くなります。

浦和駅東西の交通が つながり 新しいまちに生まれ変わる

現在浦和駅周辺で行われている事業は、鉄道により分断されている東西の市街地を一体化し、新しい交通の流れを作り出すものです。この事業には、3つの柱があります。

第1は、田島大牧線を安全で快適な道路環境に改善すること。第2は、浦和駅周辺の鉄道を高架化して、東西連絡通路を整備し、湘南新宿ライ